8 一の字池（いちのじいけ） 新田市野井町

生品中学校南西に位置し、常時湧出しています。長さ約30ｍの長方形で、その形状からの呼称と思われます。中世に新田義貞の武将、一ノ井貞政氏の館跡の一部に含まれ、湧水を利用した壕のなごりがあります。

池の脇には桜の木があり、春には花が咲きます。ポンプや水路、農地と水利用の流れがあり、湧水と農業の関わりをよく表しています。

9 通木（つうき） 新田市野井町

個人屋敷の一角にあり、湧出量は比較的多く見られます。屋敷林を背景として自然景観を残しています。また、竹林内でも湧出がみられ、湧水の原始的な風景を見ることができます。

※ 私有地のため見学は許可が必要。

10 谷地池（やちいけ） 新田反町町

自然的な要素を取り入れて、公園化されています。池の上流にある湧出点では常時湧出しています。周辺では少ない田園風景を残しています。

また、大正中頃から日本に入ってきた、希少な抽水性植物の「オオフサモ」が見られます。

<オオフサモ>

11 ドブゼキ 新田反町町

水田地帯の中を流れる水路で、水を分ける石でつくられた水門（堰）が残っています。別名「二の堰」ともいわれ、周囲の農地やアカメヤナギの大木とともに懐かしい小川のイメージを残しています。